

2012年6月～2016年3月の間に 岡山済生会総合病院にてがん患者の療養 に関する調査を受けられた方へ

—「がん患者の療養に関する調査」へご協力のお願い—

研究機関名 岡山済生会総合病院・岡山済生会総合病院附属外来センター
研究責任者 岡山済生会総合病院 外科 赤在 義浩

研究主幹機関名 岡山大学病院
研究主幹機関責任者 岡山大学病院 腫瘍センター 准教授 田端雅弘

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

2007年4月に「がん対策基本法」が施行されたことを受け、岡山県では「岡山県がん対策推進計画」を定めています。この目的は、がんによる死亡の減少とがん患者およびその家族の生活の質(QOL)の維持向上を目指して、がんの予防と早期発見のための普及啓発促進、効果的な検診体制の整備、がんの診断・治療に関する医療水準の向上、がん患者およびその家族の支援及びがんに関する研究の支援することです。

岡山大学では、2012年に岡山県よりがんの療養に関する調査を委託され、「がん罹患後の就労に与える影響」について調査を行いました。本研究では、前回のアンケート調査から5年が経過した時点で岡山県におけるがんの療養に関する状況の変化について再度調査を行い、現在のがん診療及び療養における問題点を抽出することや改善点を検討することを目的としています。

当院（岡山済生会総合病院）は岡山大学病院が中心となって行う本研究に協力させていただきます。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

がん罹患後の就労に与える影響についての問題点を再調査し、現在のがん診療及び療養における問題点を抽出することやその改善点を検討することは、今後のがん医療を改善するために重要と考えられます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2012年6月～2016年3月の間に岡山済生会総合病院、岡山大学病院および共同研究機関でがん患者の療養に関する調査を受けられた方 1500名のうち、岡山済生会総合病院において調査を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

当院倫理審査委員会承認後(2017年9月予定)～2018年7月31日

3) 研究方法

2012年6月～2016年3月の間に岡山済生会総合病院、岡山大学病院および共同研究機関でがん患者の療

養に関する調査でのアンケート結果と、2017年に新たにとらせていただいたアンケート結果とを比較し、現在のがん診療及び療養における問題点を抽出することやその改善点を検討します。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、2012年に行ったアンケート結果を使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は使用しません。

7) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山済生会総合病院医学資料室内、及び岡山大学病院血液・腫瘍・呼吸器内科学医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した試料・情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

8) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。なお、この研究における個人情報の開示は、匿名化されたアンケート調査のためできません。この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

<問い合わせ・連絡先>

岡山済生会総合病院 医学資料室

氏名：多田 京子

電話：086-252-2211（大代表）